

シンコール株式会社の環境行動計画

平成21年6月16日

取組方針

シンコール株式会社は、トータルインテリアの総合メーカーとして、快適な空間を創造しています。品質や環境への配慮を大切に、喜ばれる商品づくりに挑戦し、心地よい暮らしややすらぎの時間を演出するインテリア空間を提供してまいります。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指します。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取り組みを社員一丸となって推進します。

- ①省エネルギーにより、地球温暖化防止に努めます
- ②廃棄物の削減を進めます
- ③紙使用量の節減に努めます
- ④環境に配慮したOA機器・事務用品の使用・普及と節水に努めます

この方針に基づいて、社員一人一人が自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成21年6月16日

シンコール株式会社
代表取締役 櫻舘 良彦

3. 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標-1	二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、19年度を基準として22年度までに10%削減し、278.7 (kg-CO ₂ /百万円) とする
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 冷房温度（28度）と暖房温度（20度）を厳守する ② 人のいない区域の消灯を徹底する ③ 照明器具の間引きを行う ④ 節電効果のある照明器具の導入を検討する ⑤ OA機器の節電機能を活用する ⑥ 外出時には自分のパソコンをOFFにする <p>(車両の使用に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑦ アイドリングストップを徹底する ⑧ 急発進・急加速をせず、経済速度（法定内速度）で走行する ⑨ 最短ルートを行くなど効率的な運転を心がける

目標-2	廃棄物の排出量（売上高当たり）を、19年度を基準として22年度までに15%削減する - 重量での把握分を0.099 (トン/百万円) とする
	廃棄物の排出量（売上高当たり）を、19年度を基準として22年度までに15%削減する - 容量での把握分を0.134 (m ³ /百万円) とする
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の分別を徹底する ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する ④ 再使用・リサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する ⑤ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する ⑥ 事務所の備品は大切に扱い、長期間使用する ⑦ 廃棄物置き場の整備並びに清掃を徹底する ⑧ 廃棄物管理表（マニフェスト）の管理を徹底する

目標一3	紙の使用量（売上高当たり）を、19年度を基準として22年度までに20%削減し、3.47（kg/百万円）とする
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ② 必要なもののみコピー・プリントする ③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ④ 両面コピー、縮小コピーや裏紙利用に努める ⑤ 電子情報機器の利用により、ペーパーレス化を進める ⑥ 事業活動や催し物の案内チラシや資料は、適正な部数を作成する

目標一4	環境に配慮したOA機器・事務用品の使用・普及と節水に努める
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 事務所内で使用する事務用品は、グリーン製品から選択する ② 再使用・リサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する ③ コピー機、パソコンなどは、省エネルギーのものを選ぶ ④ 水道を使用する時は、水を出しっぱなしにしないようにする ⑤ 積極的な節水活動を行う

4. 環境負荷低減の取組

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、秘書室長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、少なくとも半年に一度会議を行い取り組み状況の点検をするとともに、全社員が「具体的な取組」を実行します。

